

事業所における自己評価総括表(公表)

○事業所名	放課後等デイサービス あいの風ベスティ		
○保護者評価実施期間	2026年1月26日		～ 2026年2月13日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	23名	(回答者数) 22名
○従業者評価実施期間	2026年1月26日		～ 2026年2月13日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数) 7名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月15日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	医療的ケア児の受け入れ (全ての医療的ケアに対応できる)	法人の強みである、訪問看護や訪問リハビリ、相談支援事業所と連携し、医療的ケアがあっても安心して通所できる環境調整を行なっている。また、特別支援学校のコーディネーターの先生方と連携し、学校から継続したケアの実施ができるよう努めている。法人内の児童発達支援からは優先的に継続利用できる。	専門職(理学療法士、言語聴覚士等)の体制を充実させ、一人一人に合わせた支援を実施していく。 急変時訓練の充実を図る。
2	療育プログラムの充実	平日の短い通所時間においても、余暇活動やお友達と過ごす時間を楽しむことが出来るよう取り組んでいる。地域との交流を目的とし、出来る限り外出する機会を設けている。夏休みはプールや調理も実施。iPadで撮影した写真をコンテストに出品した。また、ご家族が療育の様子をイメージできるよう、写真や動画を送っている。 リハビリ職による専門的支援を実施している。	お子さんの『やりたい』を大切に、好きなこと、得意なことを見つけ、将来に繋げていく。 2年目以降はご家族やごきょうだいが参加できるようなイベントを企画していく。
3	意思決定・自己決定を大切にしている	支援の中で、お子さんに自己決定してもらうことを大切にしている。自分の気持ちを伝えたり、選択したりする経験を通して、その子らしさが引き出せるよう関わっている。	コミュニケーションボード、iPad、スイッチ、絵カード、ハンドサインを活動に取り入れているが、今後は一人一人の自己実現の場も提供し、卒業後に向けての意思決定支援(どんな風に生活していきたいか)ができるようサポートしていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所の運営や支援内容について ご家族に周知されていない部分がある	お子さんの様子や支援の内容は連絡帳や送迎時にお伝えしているが、事業の運営や方針、安全計画等について、ご家族へ周知できていない。	今年度より、支援デジタルツール『HUGアプリ』を導入予定。今後は、事業所のマニュアルや安全計画等をツール内で閲覧できるようにしていく。 年度始めに保護会を開催する予定。
2	ご家族やごきょうだいが楽しめるイベントの開催が少ない 事業所の存在が地域の方々に浸透していない	ご家族、ごきょうだい、地域の方々が参加できるイベント開催ができていない。 開所まもないため、あいの風ベスティの存在が地域の方々に知られていない。	秋頃にイベントを開催予定。
3	地域の中で同年代のお友達との交流する機会が少ない	外出などの際に交流はしているが、地域の小学校や中学校、高校との交流ができていない。	学校の校庭開放など、地域の学校との交流や連携を実施していく。引き続き、児童館や地域のイベントに参加していく。